

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の伝えたいことが明確に伝わるように、話の構成を工夫して話す。</li> <li>話し手の意図をとらえながら聞き、自分の考えに反映させる。</li> <li>目的や意図に応じた文章構成を工夫しながら書く。</li> <li>叙述に即して自分の考えをもって読みすすめ、友達と交流し合う中でさらに自分の考えを広げたり深めたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミニスピーチ活動を日常に取り入れていく。その際に、起承転結をはっきりさせたスピーチメモを事前に作らせ、構成を意識させていく。</li> <li>ミニスピーチ、全校講話での校長講話など日常的に「話し手の一番伝えたいことは何か」をまとめさせる。そのことにより「聞く意識」を育てる。</li> <li>文章を書くときに、山場（自分の一番の主張、感動したことなど）を先に決めさせる。その山場が中心になるように構成を考えさせていく。</li> <li>「読むこと」の授業では、必ず自力読みの時間を確保し、自分の考えをもたせる。その時に必ず叙述に基づいて根拠をもたせる。</li> <li>交流活動では、自信をもって自分の考えを伝え合えるように、机間指導をもとに意図的な指名をしていく。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の歴史や政治、世界とのつながりなどについて、関心をもって自ら調べていこうとする。</li> <li>調べたいことに対して適切な資料を活用し、自分の考えを交えて効果的にまとめていく。</li> <li>日本の歴史や政治、世界との関わりなどに対して正しく理解していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>I C Tなどの視聴覚資料を有効に活用し、イメージをもって学習に臨めるよう工夫していく。</li> <li>調べ学習のときには、資料を複数用意しそれらを比較検討しながらまとめていけるようにしていく。また国語や総合の学習とも連動して、新聞、絵巻物、プレゼンなど多様な表現活動を習得させ、学習のまとめに適した方法を自分で選べるようにしていく。</li> <li>中学に進むまでにおさえておかなければいけない学習事項が確実に身に付くように、ミニテストなどを繰り返していく。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>割合や比例の考え方など、算数で学んだことを普段の生活に生かすことよさに気づき、すすんで活用しようとする。</li> <li>割合や比例の考え方など、算数で学んだことを普段の生活に生かすことよさに気づき、すすんで活用しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理をする際に割合の考え方が適用できたり、風呂にお湯を張る際に比例の考えが役に立ったりすることに目を向けられるようにし、活用のための具体的な手立てを単元に応じて示していく。</li> <li>調理をする際に割合の考え方が適用できたり、風呂にお湯を張る際に比例の考えが役に立ったりすることに目を向けられるようにし、活用のための具体的な手立てを単元に応じて示していく。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な事象から疑問に思ったことなどを自ら追究しようとする。</li> <li>見通しをもって実験・観察などを正しく行い、その結果からものの性質や規則性を推論していきける。</li> <li>実験、観察から考えられることを工夫しながらまとめていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験、観察の際には、何を知るために、確かめるために行うのかをはっきりとさせてから取り組ませる。</li> <li>初めから実験方法を提示せずに、どうしたら調べられるかをまず自分たちで考えさせていく。</li> <li>結果から考えられることを論理的にまとめていけるように、ノートに指導を入れ身につけさせていく。</li> </ul>

<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動することの楽しさや喜びにふれ、それぞれの技能を身に付ける。</li> <li>・それぞれの運動の特性を考えて取り組み、有効な動きを工夫する。</li> <li>・病気の予防や心の健康について正しく理解し自分の生活に役立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できないことから意欲がもてなくならないように、個々の能力に応じた課題を準備し、達成感をもたせていく。</li> <li>・ウォームアップの動きが、運動に必要な個所のほぐしになるように工夫していく。</li> <li>・ゲストティーチャーなどを招いて、病気とその予防についての関心を高めていく。</li> </ul>
<p>道徳</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいとする価値について、自分自身と照らし合わせながら深く考える。</li> <li>・友達と意見交流する中で自分の考えを深め、「より良く生きよう」と意識する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が課題に対して多様な考えをもてるような、発問を工夫していく。そのためには扱う教材文、資料を教師側でしっかり分析し、発問箇所を吟味していく。</li> <li>・授業の終末では必ず今後自分はどのようにしていくかを考えさせ、学んだことを日常化していく。</li> </ul>
<p>総合</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた課題だけでなく、自分から問題意識をもって取り組み、複数の方法で調べ、それを効果的にまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の興味・関心が広がっていくような課題提示の仕方を工夫する。</li> <li>・インターネット、図書室の利用、インタビュー活動など様々な調査方法を伝え、目的に合った調査活動を選択できるようにする。</li> <li>・パワーポイントでのプレゼンの仕方などをICTサポーターの協力も得て全体に習得させ、まとめや発表方法の選択肢を広げていく。</li> </ul>
<p>家庭科</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシン、裁縫道具などを正しく使って、自分の生活に役立つものを楽しく作る。</li> <li>・栄養バランスを考えて食事をとったり、簡単な料理を作ったりして健康に気を付けた食生活を意識する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用して手元を大きく映したり、動画で示したりしながら正しい用具の使い方を習得させていく。時には保護者のボランティアも募り個別対応を助けていただく。</li> <li>・栄養に関する基礎知識を習得できるように、ワークシートなどを工夫していく。また給食など日常的な食事の中でも、どの食材がどの栄養になるかなどを考えさせていく。</li> </ul>
<p>音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大勢のときは勿論、少人数のグループであっても演奏するときにははっきりと、音程をしっかりとって歌ったり楽器を演奏したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「各自で練習する時間」の中にグループ練習を取り入れ、教え合うような時間を取る。また、漠然と個別練習の時間を取るのではなく、「何回練習する」とか「ここができるようにする」というような具体的な内容を示すようにする。</li> </ul>
<p>図工</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に集中して取り組み、安全に配慮しながら、最後まで自分の思いを大切に、制作に取り組む。</li> <li>・自分の思いを形にするために、必要な材料や道具、工夫を、自分なりに考え試す。</li> <li>・他者の作品から、自分なりに良さや美しさを感じとり、感じ方の違いや共通点を伝え合うことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いを深められるよう、集中できる環境作りをする。基本的な学習姿勢を大切に、危険行為などについては、厳しく指導する。</li> <li>・学習の手順をスモールステップで行い、考えるポイントを明確にする。</li> <li>・鑑賞のポイントを明示し、例文や言葉を事前に伝えてから鑑賞を行う。全員が自分の思いを伝える活動ができるよう、様々な形の鑑賞を行う。</li> </ul>

